



発行者 ■
西東京・生活者ネットワーク

発行責任者 / 鈴木 美紀 発行日 / 2019年2月15日
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102
FAX / 042-410-0014 E-mail / nishitokyo@seikatsusha.net

TEL 042-453-4121



大事なことは市民が決める西東京市へ

昨年12月23日の西東京市議会議員選挙において、西東京・生活者ネットワーク（以下生活者ネット）公認のかとう涼子、後藤ゆう子が当選しました。

多くのボランティアの協力で活動を行い、ひとりひとりの市民に会いながら、ご意見を伺い、政策を訴えてきた成果であり、議員2人が真面目に議会での質問に臨み、少しずつですが成果を出してきたことへのご評価と受け止めております。

また、議員を職業化、特権化させないため、最長でも3期で新しい人にバトンタッチする生活者ネットの任期制は、政治不信が蔓延する中で、政治改革の実践例でもあり、そのことも多くの有権者にご支持いただいたものと思います。

一方、年の瀬の選挙とはいえ、投票率36.84%という低さでした。

議会は、私たち市民の生活を決めていく場であり、政治と生活は密接に関係しています。無関心はいずれ私たちの生活を苦しめることにつながるかもしれません。

「ひとりにしない！子育て・介護」と訴えた政策実現とともに、「大事なことは市民が決める！」西東京にしていくために、議会に関心をもっといただく努力がもっと必要であると、自戒を込めて実感しています。

生活者ネットは、今後も市政に関心を持っていただく努力をしていきます。みなさまも、ぜひご意見などお寄せください。

*かとう涼子 2772票(4位)

*後藤ゆう子 2705票(5位)



みなさまの声を
議会に届けます

大勢の皆様のご支援をいただき、再び議席を獲得することができました。市民の皆様の声をもとに作った政策を、ひとつづつ実現させるため、また「西東京市で暮らしてよかった」と思っていただけよう、力を尽くしてまいります。皆様にお会いできる機会をどんどん増やしてまいります。どうかお声をお聞かせください。

後藤 ゆう子



みなさまの応援を
力に変えてまいります

「がんばって」「応援してるよ！」たくさんの方に励まされた選挙戦。この応援をしっかりと力に変えて2期目も全力投球いたします！皆さんからいただく声もネットの政策提案につながります。どんなお声でもかまいません。ぜひご意見、ご要望をお寄せくださいわ。

かとう 涼子

2018年12月・議会報告



後藤ゆう子

西東京市の男女平等はどこまで進んでる？

2018年、生活者ネットは都内23区と26市の「男女平等参画に関する自治体調査」を行い、昨秋、結果とランキングを公表しました*。

これは政府の「女性活躍」の掛け声のもと、内閣府男女共同参画局が作成した「市町村女性参画状況見える化マップ」に生活者ネットがさらに項目を増やしてランク付けしたものです。西東京市は49自治体中26位でした。

全ての施策に男女平等の視点を加えることは重要です。西東京市の男女平等参画推進委員会は市民参加でほぼ毎月開催され、市の計画を点検評価しています。同委員会は、災害時には女性が被害者になることが多いことを踏まえ、防災会議への女性の参加や、性の多様性に配慮し小中学校に混合名簿を導入することなどを求めています。

議会では、市がこれらの指摘を事業に生かしているのかを質しました。検討しているとの答弁でしたが、混合名簿など実行できていないのが実態です。今後も引き続き、平等参画の視点で事業をチェックしていきます。

※結果はHPに掲載



かとう涼子

納得いかない！資源ごみの一斉戸別化！！

「資源ごみの集積所を、なぜなくすの？」という疑問の声を、幾度となく聞いてきました。「戸別収集にしたら回収費用が増えるんでしょ？」「これ以上便利にする必要ないわよ」との声が強く心に残りました。

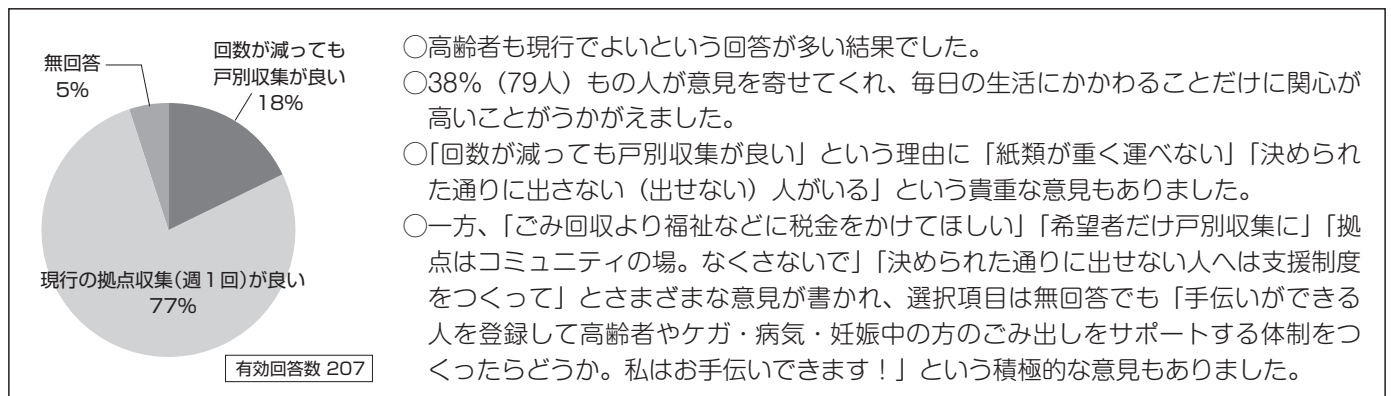
12月議会で質したところ、「集積所をめぐるトラブルが増えている。転入者が使用を拒否された、隣家と仲が悪く同じ集積所を使いたくない等々。コミュニティを維持するためにも戸別化が必要」との市の答弁。そうであるなら、集積所が維持できなくなったところにだけ戸別化を認めればよいのです。回収費用を抑えるために、空き缶や紙ごみの回収が2週に1度となれば、集合住宅にお住まいの方にとっては利便性の後退となってしまいます。

「自治会が解散し、ごみの拠点収集が唯一のご近所付き合い」との声も、数多く耳にしてきました。わずらわしさも含め、人と人が関わり合うことで作られてきた地域社会。コミュニティの最後の砦をなくしてしまっているの？ 皆さんはどう思いますか？

資源物の戸別収集、どう思う？

2018 ひとこと提案報告

生活者ネットが毎年実施している「ひとこと提案」。昨年は、ケアラー、香害についてと、資源物（びん・缶、古紙、etc.）の戸別収集について伺いました。ここでは、戸別収集についての結果を報告します。



戸別収集によって、排出マナーや分別意識が高まるというメリットもありますが、収集車が増えCO₂を増やしては環境に良いとはいえません。

西東京市一般廃棄物処理基本計画に位置づいているとはいえ、「原則・戸別収集」ではなく、戸別収集を希望する人に戸別収集を行う方が、税金の使い道として適切と思われるが、みなさんはどう思われますか？

(※詳細やその他のアンケート結果については、HPをご覧くださいか、ご連絡をいただければ送付いたします。)